

平成30年度第1回西脇市教育振興基本計画策定会議 議事録

日 時：平成30年6月18日(月) 午後3時～午後4時30分終了

場 所：西脇市生涯まちづくりセンター2階 会議室2

出席委員：11名

事務局：11名（教育長、教育部長、教育委員会参事、教育総務課長
学校給食センター所長、学校教育課長、学校教育課主幹兼
教育研究室長、幼保連携課長、人権教育課長、生涯学習課
長、スポーツ振興室長）

傍聴者：0名

1 開 会

2 委員委嘱

3 教育長あいさつ

4 委員紹介

5 概要説明

西脇市教育振興基本計画策定会議の役割等について

【資料1-1・1-2】

6 協議等

(1) 正副会長の選任について

(2) 策定スケジュールについて【資料2】

<会長>

審議を進めるにあたって、会議の大まかな予定や答申の時期等の年間スケジュールについて、事務局からお願いします。

(事務局から説明)

<会長>

ただいま、事務局から年間スケジュールについての説明がありました。このことについて、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。先程の教育長のごあいさつにもありましたが、県の計画、国の計画、西脇市の総合計画はどのあたりの進捗なのでしょう。

<事務局>

まず、国の基本計画につきましては、策定作業が終わりまして先週

6月15日に閣議決定ということで発表されています。計画年度につきましては、今年度から2022年度の5ヵ年となっています。兵庫県の教育振興基本計画は2019年度から2023年度の5ヵ年になっております。県は現在、策定作業に入られたところで、ホームページに掲載されています資料を参考資料2としてつけておりますが、現在策定中となっております。西脇市の総合計画は、今、策定作業を行っております。全計画12年間ありますが、前期6年、後期6年と長期にわたるかたちとなっています。まだ、総合計画は作業着手をしたところですので、この計画の策定作業と市の総合計画の両方を策定していくこととなりますので、今後、会議で適宜その進捗状況等を報告させていただきます。

<会長>

スケジュールにつきましては予め打診をいただいて調整しながら進めていくということですね。

<事務局>

はい、そうです。

<会長>

続きまして(3)西脇市教育振興基本計画について ア計画の期間について事務局から説明をお願いします。

(事務局から説明)

<会長>

今まで5年なので、次回も5年でというご提案ですね。何かご質問等ありますでしょうか。市の総合計画は12年で、前期後期で6年ずつですね。これはどういうことでしょうか。

<事務局>

設定としましては、市長の任期が4年であり、4で割り切れる数字という発想ということもございます。通常、市の総合計画等は各5年の10年でしたが、各6年の12年と特殊であり例がないようですが、事務局では市長の任期をベースに考えられたようです。

<会長>

今回はスタートが合うわけですが、この計画が5年終わると市の計画はまだ1年残りで次の計画を作る感じになるのですね。それはそのときに考えたらいいかということですね。

5年ということによろしいでしょうか。

(意義なしの声)

<会長>

続きまして、西脇市教育振興基本計画の「基本理念」について事務局から説明をお願いします。基本理念はかなり重要なところですので、皆様方からこれを大切にしたいとか、私はこういったことが西脇に求

められているとかいうようなことを後から皆様から一言ご意見をいただきたいと思います。委員の皆様のご自分の思いで結構ですので、よろしく願いいたします。

（事務局から説明）

<会長>

ありがとうございました。なかなか抽象的でこれに対抗するようないい言葉は出てこないのですが、具体で結構ですので西脇の教育について、このようなことがあってほしいとか、このようなことが課題だとか、自由にご発言いただいて、あとは事務局のほうで合う言葉を当てはめていただく作業をお願いしたいと思います。

それでは順次ご発言をお願いいたします。

<委員>

質問ですが、西脇市次期教育振興基本計画体系図イメージの③の「女性活躍推進のためのリカレント教育の教科」は「強化」の間違いですか。

<事務局>

そうです。「強化」の間違いです。訂正をお願いします。

<委員>

まず、「確かな学力の育成」という部分で、教育長の話にもありましたが、子どもたちの数が減ってきた。そんな中でいろんな意見が反映できる事業の創造が課題だと思っています。前任校が双葉小学校でそのときの課題として多様な意見が聞きにくいとっておりました、現在は桜丘小学校ですので少し人数が増えましたが、それでも人数がかなり減ってきている。そのような中で、どのようにしてダイナミックな事業を組み立てるか。基礎基本を繰り返す見える学力もわかるのですが、高めあう授業というのもこれからもっと改革していかないと子どもたちのためにはうまくいかないのではないかと考えています。今、うちの6年生の半分に授業をみせて、半分は授業を受けさせています。そうすることによって、高めあう授業が研究できていると感じており、これからそういう視点も必要だと思います。それと、去年まで男女共生の委員もさせていただいておりましたので、そういう意味でこれから男女分け隔てなく、生涯学習の部分ではきっちりとした対策が必要ではないかと思っています。これからホストタウン事業もありますし、機会均等ということも考えていただければと思います。

<委員>

私は中学校で社会科の専門ですが、授業や研究会の参加を通して、何のために社会科を勉強しているのか、とよく考えます。郷土を愛する、郷土から発信する、郷土を基盤とした「市長ふるさとを語る」という行事が中学校であります、郷土から発信する能力をつけるため

の学力、あるいは人間力を育成していきたいという思いが強いです。もう一つは学校現場の課題としては、人権感覚をしっかりと育成していきたいと思っております。いろいろとありますが、この2点です。

<委員>

幼児教育と就学前教育というところから、3つのポイントを挙げられていましたので、これについて考えてみました。西脇市は本年度から保育園が認定こども園に移行しまして、認定こども園の先生方はすごく頑張ってくださいています。子どもたちが変化に対応するって何だろうと思ったときに、目当てを持っていろんなことに果敢に挑戦していく姿が目に見えました。そのためには、多様な経験や体験が幼少の頃から必要で、そのためには自立という言葉がキーワードだと思います。未来を見据えるというのは、今やるべきことを明確化して進んでいきましょう、そのためには未来に向けて夢を持って頑張るませんか、ということで、就学前教育は遊びながら学ぶと言われており、遊びの中に目的を持ってそれに向かって頑張っていきましょう、というところなんです。ただ自分のことだけではなく、就学前教育でも大事なことは協同と言われているところで、それを教育というところで考えると、共生という言葉が合うのかなと思いました。教育成果を上げるということについては、やはり子どもたちの個々に応じた指導とか、生活面や学習面での実態把握というのがいるのだらうと思います。自立、共生、夢、という言葉が浮かんできます。

<委員>

私は社会教育委員を4年間させていただいております、その間、学校現場で社会教育委員として、いろんな見方が少しできたかなと思っております。31ページの「西脇市の教育の目指す姿〔総論〕」を見させていただいたときに、生徒達に西脇市の自然、歴史、文化、産業を学ぶということをもう少し積極的にやってもいいのではないかと思います。行動目標2に「にしわき15（いちご）検定の実施」がありますが、この間の社会教育委員の会ではこれを廃止して郷土かるたをしたいという意見が出まして、群馬県にいったときの縄文かるたの冊子をいただいて、郷土愛を育むにはすごくいいなと思っているときに、にしわき15検定に替えて、郷土かるたを作成しようかという段階だと聞きまして、とてもいいと思ひまして、もしするのであれば、全国の見本になるものにしてほしいと思います。それと、せっかく郷土資料館があるのですから、学校は忙しいと思いますが、もっと利用し、学習の場として先人の苦勞や地理を学ぶといったことが大事ではないかという気がしております。

<委員>

私も皆さんが言われているように、ふるさとを誇りに持つ、そして

心を豊かに学ぶ環境をつくることが大切だと思います。社会がすごい速さで変化しているのと、小学校でも英語教育やプログラミングの導入などが言われていて急速に進展していることと、そのような中でもどんなに社会が変化しようとも変わらない価値というものがあると思うので、一人ひとりの夢や希望を育むためにも、学校では子どもたちが自身を持てる情報等を提示することだけでなく、地域でもあなたたちのことを見守っている、ということ発信すること、あなたの住んでいるまちはこんなに素敵なところだ、ということ伝えること、そしてそこに住んでいる人たちがどんなに頑張ってきてるんだよ、と子どもたちに伝え続けていくことが大切なのではないのかなと思いました。

<委員>

31ページの「西脇市の教育の目指す姿〔総論〕」で「あ・た・ま」についてですが、まさにこれでいかないといけないと思います。昔は外で遊んで地域の人に怒られたりしていたけど、今の子は家でゲームをするのであまり外で遊ばない。外で遊んで怒られたりして学ぶ力や食べるものにもいろんな興味を持つように心がけてはいるのですが、「学ぼう」に関しては、本を読まず、それでおのずと漢字を覚える。今まさにこれが大事なのではないかなと思います。

<委員>

前回の計画を読ませていただいて、私は保育協会なので、妊婦さんから就学前というところについてですが、いくつか出てくる学校園教育とか就学前教育という言葉が、ところどころ文章によって意味が違う。学校園といっても幼稚園しかないし、食育に関しては、保育園は入っておらず幼稚園以上の学校しかないし、認定こども園と給食センターは一切連携していないし、国は5歳児を義務教育化したいという思いがあるのではと思いますが。小学校との連携といっても何が連携なのかは難しいですが、もう少し、言葉の整理はしてほしいと思います。防災教育についても、各園でしてください、ということで、しようという声かけもありませんし。また、教育長は「成果が上がる。」と言われましたが、成果とは、東大に行く子を増やすということなのか、ニートをなくすということなのか、税金を払える市民を増やすということなのか、人口を増やすことなのか、成果を語るのは必要ですが、目指すところはどこなかなと聞かせていただきました。私自身も基本理念というのは持っておらず、書いてあるとおりでいいと思いますが、具体どうなのかなと思います。読み方によって変わる理念は辛いなと思いました。

<委員>

私は以前保育士をしておりました。今も仕事の関係上、子どもに関

わることが多いのですが、豊かな心の育成が西脇市にとって大切なのではないかと思います。豊かな心になったうえで学力が伸びていくだろうし、先にまず、心かなと思います。西脇市に戻ってきたいとか、西脇市が好きだという気持ちを持った子どもたちをもっともっと増やしてほしいと思います。そのためには、一人ひとりを大切にする、子どもに寄り添える先生がもっと増えてほしいなと思います。先生の心のゆとりは今問題になっていると思いますが、保育士は書類ばかりに追われて先生自身の心のゆとりがどれぐらいあるのかなと思います。心のゆとりがあると、子どもに対しての接し方も変わるし、研修等の学ぶ機会に対する姿勢も変わってくるだろうし、子どもに接する時間が増えると、子どもの心が落ち着いて先生を信頼する子ども達が増えるのではないかと思います。その上での学力かなと思います。また、私の子どもは発達障害がありまして、就学前の早期発見で、今、就学前の検査を受けて新学期に間に合うようにしているのですが、周りの保護者の方から、窓口がたくさんあるがゆえに相談しにくい、相談には行きたいけど市役所まで行くのが大変だ、と聞いています。こども園で教育相談があって、就学前に早期発見ができ、小学校1年生から安定して小学校に通えるような支援を作してほしい。発見が小学校に入ってからでは遅いのではないかと思います。

<委員>

私は今子育てしながら仕事をしており、保育や教育に携わっていないので意見も難しいのですが、西脇市で生まれ育ち、現在は、西脇で子育てしながら思うことは、伸び伸びと育ててほしいと思うことと、実際、自分の子どもを転園させているので、こども園によって保育や教育の方針が違い、子どももそれを感じ取っています。どの園も同じように保育や教育が受けることができたらいいと思います。また、西脇市に帰ってきたい、西脇市に貢献したいと思う子どもが増え、住みよいまちになったらいいと思います。

<副会長>

基本理念ですが、今、区長をさせていただいているのですが、地元に入ると、世話をする人や役を引き受けてくださる方がなかなかおられない、という現状があります。教育とは、子どもたちだけではなく西脇市民全体の教育ですよね。学校園のことについては書かれていますが、地域のことになると、30代や40代の引きこもりの人はどこが受け入れるのかとか、少子化になってくると運営していくのが難しい、どうしたら地域をうまく運営できるのだろうか、若い人が働ける場所があっても戻ってこないのはなぜか、それは、地域にそれだけの魅力がないのか、それとも地域との繋がりがいいのか、こういうことを最近思います。年配の方がたくさんおられ、グランドゴルフなどをされ

ていますが、人のために世話をしてくれる方がなかなかいなくてうまくいかない、という社会現実があります。自分の事は勉強などして一所懸命されていますが、人のためとなると足がすくんでしまう。そのような中で基本理念についていろいろ考えたのですが、時代の変化に対応していくことも必要です。先のことを考えるのも必要です。成果を上げることも必要です。しかし一番肝心なのは、先程教育長がおっしゃったように人格ですよね。ですから、人間力という言葉がありますが、いろんなことに一所懸命になるのはいいのですが、やはり人間力を高めるような教育の機会が必要ではないかと思えます。人間力とは、社会を構成し運営するとともに 自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力であると調べました。何が重要かという基礎的な学力、それからコミュニケーションスキル、リーダーシップ、公共心、社会対人関係、そういったことが必要であり、また、その人の意欲、探求心があるのではないかと思ひまして、とりとめのない話をしますが、これから西脇市をどうするのかと皆さん思っておられると思いますが、全ての方がここでいかに暮らしていけるか、それも楽しく暮らすにはどうしたらいいか、やはり人との繋がりが無いと暮らせない、人と繋がりを持とうとすれば自分が公共心を持っていないと繋がれないと思っています。それと、青年の家の館長をしておりますが、子どもたちが合宿できます。その時に、挨拶をすることがあります。「サッカーや野球を上手になるのと同時に、人として立派にならないと、いくらサッカーや野球が上手になってもあかんよ。人の世話をしたり人の気持ちになったり、そういうことを青年の家の合宿で覚えて帰ってください。」と話しますが、これがもっと大人に広がればと思います。

<会長>

一通り皆様のご発言をいただきました。なるほどと思うことが結構多いです。1つ目は、教育のキーワードはやはり、社会に繋がった学校であると思ひます。これは郷土愛を育むなど学校がいろいろと社会に貢献している、つまり、社会も学校の中では教えられない公共心とか、人のお世話をするなど社会の中で教えてもらう、まさに社会に繋がった学校であるべきだという感じがいたしました。2つ目は、教育振興基本計画は、就学前から死ぬまで一通り全部をカバーするものですが、学校教育の方に目が行きがちで、そうではなく、卒業した後の様々なケアがありますし、入学前も様々な働きかけが必要だと思ひます。3つ目は掲げるとするならば、市に貢献する、貢献というのはいろんな対象があると思ひますが、例えば魅力のある市になって若い人が増えて人口が増えるとか、あるいは、育った子がまた帰ってきて地域活動を熱心に行うとか、他市で学び地元に戻ってきて会社を興

すとか、そのようなことには郷土愛とか歴史文化がベースになると思います。市の課題解決に、直接的にも短期的にも長期的にも貢献するという姿を皆さん描いておられると感じました。まとめではありませんが、私の意見も含めて申し上げます。また、人間力や人格はキーワードであると思います。教育基本法は人格の完成を目指している訳ですから、サッカーができたか勉強ができたかするベースの部分だと思います。今後も意見を述べていただく機会がありますのでまたお伺いしたいと思います。

<会長>

続きまして、西脇市教育振興基本計画の施策体系について事務局から説明をお願いします。

(事務局から説明)

<会長>

ただいま、事務局から説明がありました。一番左が目的で、左から2つ目がそのための手段です。それを実現するための目的手段のツリーになっております。事業部分を教育委員会が積み上げることによってこれを実現していくという方法になっております。具体化し、事業レベルの一番細かいことをやりながら実現していくという方法です。また、左の5つの柱は非常に重要でありまして、この辺りをどのように設定していくかによって全体の流れが変わってくる。何かないと意見が言いにくいですので、その何かを作っていただいて、協議していく方が現実的であると思います。スケジュールのところでもございましたが、一度、内部で作業をしていただいて、それについて意見を述べたり自由に発言したりしながら進めていければと思います。この施策体系でご意見等ございませんでしょうか。

<副会長>

大学生、高校生も施策体系に入っているのですか。

<事務局>

大学教育や高等教育は入っていません。直接、市教育委員会として関わるできない部分は除いて整理をしています。

<会長>

今のご意見は非常に重要なご指摘でありまして、教育委員会で行うことなのか、市全体で取り組むことまで提言として入れるのかということですね。例えば、30代40代の方の引きこもりまで市教育委員会がどこまで関わるのかなど、なかなか今の段階では具体化は難しい。市全体で、教育に関連する項目だと位置づけて絵を描いていった方が現実的であるし、教育委員会できないところは市長部局にお願いをするなどが必要ですね。

<副会長>

例えば消費者教育みたいなことや防災教育などは入るのではないかなと思いました。

<会長>

こども園、小学校、中学校までは学校教育で、あとは生涯教育ですね。福祉は少し離れていますね。今回はこのような議論したことありますか。

<事務局>

計画策定の中で、大学生や高校生の教育や防災教育など確認をしながら反映をどの程度させるかは、会議の中で議論することになると思います。

<委員>

教育委員会色が強い。市には児童養護の施設がありませんので、それ以外の話は抜け落ちますし、例えば、消費者教育にしましても縦横の連携がとれていなくて、どんな子どもを育てようか、どんな市民サービスをしようとしているのか見えない。教育委員会のための教育振興基本計画だと思います。生涯学習、妊婦さんから死ぬまでの教育理念が必要だと思います。

<会長>

事務局にお願いですが、総合計画の下に個別計画がぶら下がっていると思いますのでどうなっているか一度見せていただいて三遊間があいていなかみていただきたい。もし、市長部局がカバーするものがあれば、市長部局に働きかける。個別計画がどうなっているのかわかるようにしていただけますかね。

<事務局>

今お話しがありましたように、次回の開催までに施策体系の資料等を配布し、事前にご確認いただくようにしたいと思います。

<会長>

もう一つお願いですが、現時点での後期計画5年間の目標数値を出していただけたらと思います。

<会長>

以上を持ちまして本日予定しておりました協議事項については終了いたしました。委員の皆さん、様々なご意見等をいただき、ありがとうございました。それでは、事務局から事務連絡等をお願いします。

<事務局>

ありがとうございました。今後の予定でございますが、第2回の審議会につきましては9月頃に開催いたしたいと考えております。日時が決定次第連絡いたしますのでよろしく願いいたします。最後に、閉会のあいさつを申し上げます。

< 閉会挨拶 >